



- パートナーシップ推進週間によせて 1
- 特集
「進め!介護男子(ケアメン)~みんなでやろうぜ!~」.....2、3
- トライあんぐる
「~女性のチャレンジが時代を切り拓く原動力に~」.....4
- アマランスフェスタ20134

アマランス

パートナーシップ推進週間によせて

長崎市では、10月1日からの1週間を長崎市男女共同参画推進条例の施行を記念して「長崎市パートナーシップ推進週間」としています。

この推進週間には、毎年「アマランスフェスタ」を開催しており、今年は10月5日、6日の2日間にわたり、漫画「ペコロスの母に会いに行く」作者の岡野雄一さんによる講演をはじめ、さまざまな講座やイベント、バザーなどのほか、パートナーシップ推進週間にちなんで男女共同参画をテーマとした「川柳」の入賞作品の発表と「男女イキイキ企業」2社の表彰を行いました。

なお、「川柳」の入賞作品と「男女イキイキ企業」2社については、アマランス玄関ロビーで展示するほか、アマランスのホームページなどでもご紹介しております。

男女イキイキ企業表彰

性別にかかわらず誰もが働きやすい環境づくりを実践し、働く人も会社もイキイキとした会社を「男女イキイキ企業」として表彰しました。



●株式会社 井筒造船所

- ・社員の年次有給休暇の取得率向上を図り、女性社員の育児休業取得を積極的に勧めたり、消防団出初式への参加を出勤扱いとするなど、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進に取り組んでいる。
- ・ワーク・ライフ・バランス委員会を独自に設置し、社員の意見・要望を取り入れて働きやすい仕組みづくりに努めている。

●株式会社 ドゥアイネット

- ・女性社員の管理職への積極的登用を進める一方、育児休暇を取得しやすい環境整備に努めている。
- ・社員同士の交流や自己研さんの勉強会の場として、全社員参加の「わいがや会」を開催し、働きやすい職場環境の整備に努めている。

パートナーシップ推進週間入賞作品 (川柳)

パートナーシップ推進週間にちなんで「性別にかかわりなく、その人の個性や能力を發揮できる男女共同参画社会の実現」をテーマに川柳を募集しましたところ、たくさんの応募をいただき、その中から最優秀賞1作品、優秀賞2作品が選ばれました。

最優秀賞	ありがとう 心に花咲く 合言葉	ペンネーム	新米ママ さん
優秀賞	人生は 男と女の 助けあい	ペンネーム	未夢 さん
優秀賞	支え合う お互いさまを 恩送り	ペンネーム	りんごっ娘 さん

【ちょっとアマランス通!】アマランスとは、ギリシャ語が語源で、常花という意味。古代人の間では、アマランスが永遠にあざやかな深紅色の花をつけ咲きつづける不死性の象徴とされたことから、一人ひとりが生き生きと活動したいという願いが込められています。

ケアメン 進め!介護男子～みんなでやろうぜ!



案内:アマラちゃん

「ケアメン」とは

親や妻など家族の介護に取り組む男性を、「イクメン(育児に取り組む男性の呼称)」になぞらえて呼ぶ言葉です。近年、男性介護者が全国で120万人に達するとされている中、各メディアなどで注目を集めています。



男性のみなさん!
介護のことって考えてる?

仕事で忙しいし、難しそうだと
妻を頼ることになりそうだな...



親も若いし、介護ってまだ
実感がわかないんだよね



いつ必要になるかわからないよ
みんなで一緒に考えてみない?

STEP2 学ぶ

制度や知識を学びましょう

介護保険などいろんな制度や費用などの基礎知識、会社勤めの人は介護休業制度など、知っておきましょう。

介護に役立つテクニックを学びましょう

専門的な介護技術の前に介護に役立つ炊事や掃除などの家事を。毎日の生活にもきっと活かせますよ!



やってみると
なかなか
面白い!

期間限定!!

アマランス図書室に
『進め!介護男子図書コーナー』
オープン☆

市立図書館のカードで
借りれるよ!



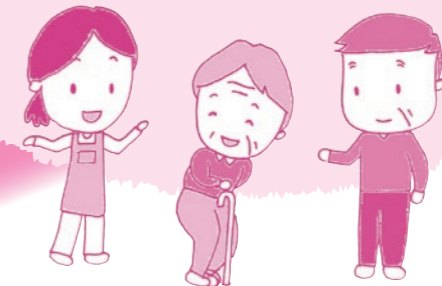
STEP3 話す

家族と話す

介護する人・される人、お互いにして欲しいことやできることを家族の間でよく確認しておきましょう。

みんなと話す

親せき、ご近所さん、仕事などのいろいろな仲間で...介護について話してみましょ。お互いに将来役に立つアイデアや発見があるかも?



なるほど...
わかった。そうか...

長崎市の相談窓口のご紹介

☆介護保険制度については...

介護保険課(☎829-1163)

☆高齢者やその家族の困りごとは...

お近くの地域包括支援センター

もしくは高齢者すこやか支援課(☎829-1146)

制度について説明したパンフレットもご用意しています!

気軽に相談
してください!



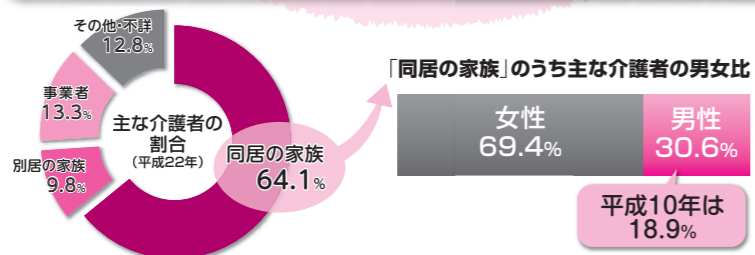
もしも

STEP1 知る

現状を知りましょう

「妻や娘に頼れば...」、「施設やプロの介護士に任せれば...」
と思いませんか?
まずは男性と介護の関係について現状を正しく理解しましょう。

男性介護者は全国で120万人とも言われ、少子高齢化が進む中、これからも増えると予想されているんだ。介護は性別に関係なくみんなで取り組まないと、大変なことになるんだよ!



家庭における主な介護者の男女比
※厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに作成

少子高齢化や非婚・晩婚が進むにつれて、これから介護の分野で男性の力がますます重要になると見込まれています。

しかし、特に男性が介護のノウハウや心の準備がないまま介護に直面し、さらに従来の固定的な男性像に縛られ、介護に伴う問題や困りごとをひとりで抱え込んでしまうことで、行き詰ってしまうこともあります。

介護は長期戦なので、ひとりでやるのは簡単なことではありません。また、介護は多くの人が直面する現実です。公的な制度などを上手に利用し、周りの人を巻き込みながらみんなで力を合わせて、みんなで乗り越えていきましょう!

もちろん、長崎市にも相談窓口がありますので、困ったとき、分からないことがあるときは遠慮なくご相談ください。

ケアメン
進め!介護男子! みんなでやろうぜ!

今でも大切に手元に残している長崎新聞の記事があります。日付は昭和59年11月8日木曜日。「四年生女子大生の就職」という4段抜きの見出しで、長崎大学経済学部と活水女子大学の学生が参加し「これからの女性と職業～四年生大学卒業女子の能力を生かし、活躍の場を広げるために～」をテーマに長崎婦人少年室で開催された懇話会が紹介されています。当時私は長崎大学経済学部の4年に在学中で、この懇話会に参加した一人です。

時は、男女雇用機会均等法の施行前年。私にとっても、採用内定までは大変厳しい道のりでした。記事中に参加者の声として「親元からの就職だったから難航したが、実力主義の会社と見込んだ会社へ行き、女子はとらないというのを無理にお願いして内定した」とは私の発言で、今もありありと就職活動の思い出がよみがえります。いくつもの企業に電話をかけても、「私は長崎大学4年の・・・」と言いかけたところで、「ああ～我が社は、4年生女子は、いらぬんですよ」といべもなく断られる状況で、当時はそれが珍しいことではありませんでした。

それから約30年。時代は大きく変わり、社会が今、女性の能力を必要としています。

成熟した社会における価値観の多様化、拡大することではなく循環し、持続可能な企業活動が求められている中では、言葉にならない相手の気持ちを察して、自分の事のように受け止めることができる女性の特性が難局をのりきっていく原動力になると考えています。ですから、女性の皆さんも自信をもって何事にもチャレンジして欲しいのです。

わが社でも、事務機器の営業職、複写機のメンテナンス業務などこれまで男性だけだった職種に女性がどんどんチャレンジをして成果を挙げています。また、会社の周年行事やホテル事業部ではレディースフロアのリニューアルなど、女性だけのチームによって大きなプロジェクトをやり遂げることができました。

アメリカの大統領選挙で“Yes, we can!”という言葉がブームになりました。今の日本の法律やそれぞれの会社における制度の充実が女性の活躍を後押ししてくれていますが、これはこの言葉になぞらえると“Yes, you can!”なのではないでしょうか。

これを受けて私達ひとりひとりが“Yes, I do!”と心に決めて、小さなチャレンジを積み重ねていくことが新しい時代を創っていくことにつながっていくと信じています。



船橋佐知子さん

九州教具株式会社
代表取締役副社長

長崎大学経済学部卒。会計事務所勤務を経て家業に戻り、2005年より現職。

ワーク・ライフ・バランス&ホスピタリティを軸に人間力を向上させようと「自分記事作り」「わくわく☆ワーク」などの社内企画を実施するとともに、子育て中の社員の組織「3-SKIP」を支援するなど働き甲斐のある組織風土づくりに取り組んでいる。

アマランスフェスタ 2013



基調講演「ペコロスの母に会いに行く」(講師 漫画家 岡野 雄一さん)

10月6日、メルカつきまちホールにおいて、漫画家の岡野雄一さんを講師にお招きし、基調講演を行いました。

講演では、認知症を発症したお母さんとの間で繰り広げられる苦悩と笑いのエピソードを、長崎での幼少時代の話や地元ならではのネタを織り交ぜつつ披露されました。「母が生きてくれているだけで身の回りが豊かになる」と、お母さんへの心温まる気持ちを表現された岡野さん。来場された方々からは「自分も家族を介護している中で、介護真ただ中の飾らない『生の声』が聞けて気持ちが少し楽になった」「将来的に介護する身、介護される身になったときのことを考える良い機会になった」などの感想が寄せられました。近年、家族など近い人の介護に関する話題がメディアを賑わすことが増えていますが、老若男女問わず、関心の高さがうかがえました。

このほかにも、10月5日には「くらべてみよう！男女共同参画」「経済の発展とともに成長していく中国現代女性」「江戸しぐさ」「中年男性、構えておかんば！女性に多い認知症」「社会における女性が果たす役割」「イキイキ健康体験！」「おりがみ体験コーナー」「スクール・セクハラを考える」「源氏物語の世界へようこそ！」「風呂敷でござ縁を結びましょう」「行政相談」といった、男女共同参画に触れるさまざまな講座やイベントのほか、クイズ、バザー、はあと屋さんによるお菓子等の販売などを行い、多数の皆さまにご来場いただきました。ありがとうございました。

〈編集後記〉

今回の特集ページのタイトルは、老若男女が、委員・事務局の垣根を越えて和気あいあいとアイデアを述べるなかで生まれました。いろいろな場所、いろいろな場面でこんな雰囲気であつたらいいなと思います。男女共同参画、幼老共生を感じました。(耕)

発行■平成25年12月 編集■長崎市民局市民生活部人権男女共同参画室・長崎男女共同参画推進センター
〒850-0874 長崎市魚の町5番1号 TEL 095(826)0018 FAX 095(826)2244
ホームページアドレス■<http://www.city.nagasaki.lg.jp/shimin/190000/193000/p000374.html>
E-mailアドレス■jinkendanjo@city.nagasaki.lg.jp

